

庄内町の参画と協働の具体的手法を考える

※ これまでの会議で出された意見をもとに、例として記載しています。

具体的な手法	立 場	役 割
情報の共有・発信	町 民	・行政の発信する情報を把握、認識する必要がある。 ・もっと議会、議員活動に対し、関心を持ち、積極的に意見反映を行う必要がある。
	議 会	身近に感じられる議会、議員活動を心がけるとともに、もっと身近に感じられる情報発信の仕組みづくりを行う。
	行 政	情報を受ける側が、実践するのに必要な情報をタイムリーに分かり易く発信する。
	事業者など	
地域コミュニティ活動の推進	町 民	・世代問わず町づくり、地域づくりに参加する仕組みづくりが必要である。 ・地域内の課題に対し、住民自らが住民同士の連携により対応すること必要である。
	議 会	
	行 政	地域コミュニティの活動を支援する(行政の相談機能強化や使いやすい補助金など)
	事業者など	
町民活動の推進	町 民	面白い活動をしている団体のようすを仲間で視察してみる。
	議 会	
	行 政	公益活動を進めるボランティア団体やNPO団体などとの連携を図る。
	事業者など	ボランティア団体同士の連携を進める。
住民投票制度	町 民	まずは、まちづくりに関心を持ち参加することで町の現状を学ぶ。
	議 会	
	行 政	住民の意思を直接確認できる、住民投票制度を適切に活用する。
	事業者など	
町職員の人材育成	町 民	
	議 会	
	行 政	町民が参画しやすい環境を整えるため、研修制度の充実などで人材育成を図る。
	事業者など	

「庄内町の参画と協働の具体的手法を考える Vol.3」

町民の参画と協働による町づくりを進めるため、庄内町の基本条例に盛り込むべき（検討すべき）具体的な手法（項目）として何が必要なのかを、話し合っていきます。

これまでの会議で、皆さんから出された意見をもとに、具体的な手法（項目）と各者の役割をまとめたものを、事務局が資料として準備し、それをもとに話し合いを進めます。

具体的手法を検討するにあたり、それぞれの立場がどういう役割を持つのかも、併せて話し合います。（これまでの会議で出された意見について、記載しておきます。）

【資料イメージ】

町民の参画と協働による町づくりを進めるにあたり、具体的な手法として、「必要なものなのかどうか、記載されたもの以外の手法として何があるのか」を話し合います。
（これまでの会議で出された意見をもとに、例として記載しておきます。）

具体的な手法	立 場	役 割
《 例 》 情報の公開、共有	町 民	町民は、行政の発信する情報を把握、認識し、常に情報を共有する。
	議 会	
	行 政	行政は、情報共有を進めるため、受ける側が判断するに足る情報をタイムリーに分かりやすく発信する。
	事業者など	
《 例 》 地域コミュニティの再構築	町 民	町民は、自律(自立)して地域コミュニティを支え、創る重要な役割を持つ。
	議 会	
	行 政	町は、地域コミュニティを支えるための支援を行う。
	事業者など	
《 例 》 (重要な施策などの策定に際しての) 意見聴取手続き	町 民	
	議 会	
	行 政	町は、重要な施策などを策定するに際して、その意思決定前にパブリックコメントを実施する。
	事業者など	

⋮